SANEI

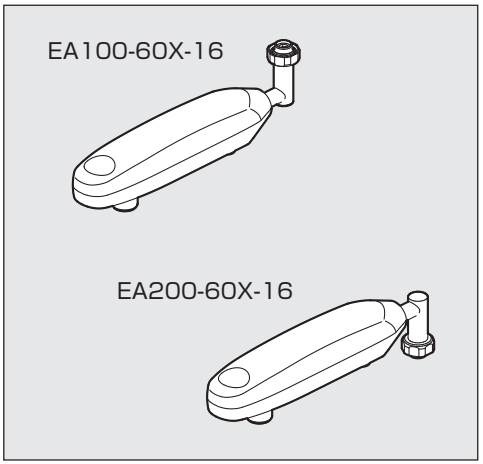
T-EA100-60X-16-B6 AIJ

保証書付

自動水栓パイプ …… EA100-60X-16 EA200-60X-16

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ（据付け引渡し）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびに据付け引渡し年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称……1
寸法図……2

施工について

施工に関する安全上のご注意…… 3～5
適切な使用条件…… 5
施工上のご注意…… 5
梱包明細……6
施工手順……7～11

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意…… 12～15
吐水・止水……16
手動操作について……17
電池の取替え…… 18～19
凍結予防……20

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り……20
ストレーナ・吐水口の掃除…… 21
センサー感知窓の掃除 …… 22

定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ‥ 22

こんなときは

故障？　その前に…… 23
本製品の構造……24

その他

仕様……24

保証とアフターサービス

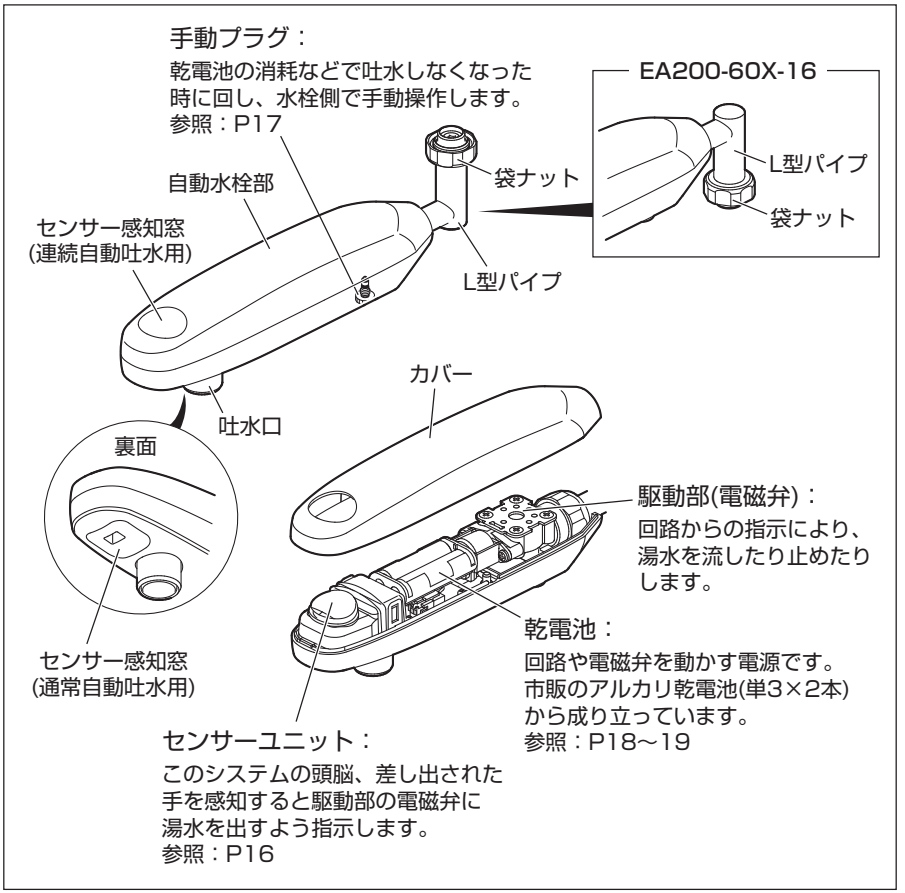
保証とアフターサービス…… 25
無料修理規定……26
保証書……裏紙

本製品について　各部の名称

●全自動システム ‥‥ 赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。
連続自動吐水の場合は本体上面に差し出された手を感知して連続自動吐水、再び差し出すと自動止水します。

●市販アルカリ
乾電池使用 ‥‥‥ 乾電池は市販のアルカリ乾電池(単3×2本)を使用しているので入手が容易です。

●長寿命 ‥‥‥‥‥‥ 1日に100回の使用で、乾電池寿命は約2年間です。
(乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては短くなったり長くなったりします。また、同梱の電池は動作確認用のため、動作期間を保証するものではありません。)

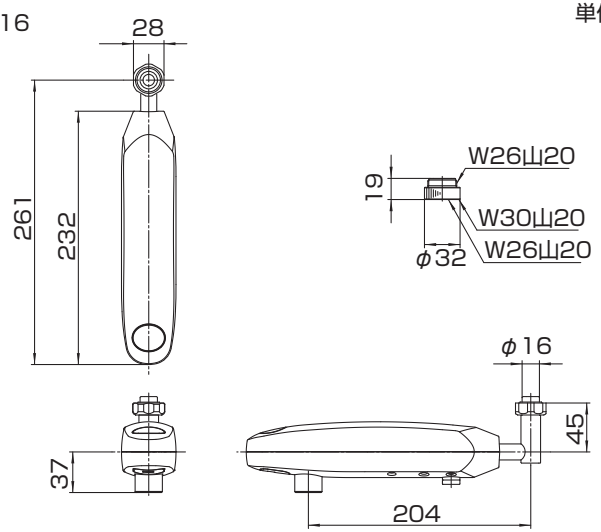


本製品について　寸法図

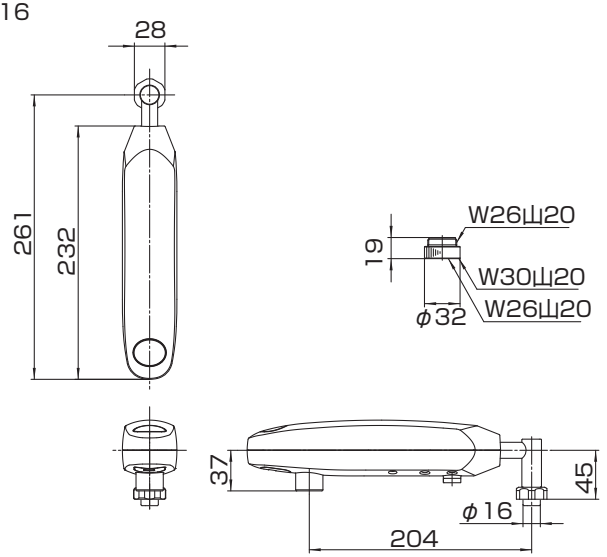
仕様により、寸法が異なる場合があります。

単位：mm

■ EA100-60X-16



■ EA200-60X-16



施工について　施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ・・・・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ・・・・・・・・「注意しなさい!」（上記の「注意」「警告」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

「分解してはいけません!」

「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

「水や液体をかけたり、浸けてはいけません!」

「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」

⚠警告

製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
故障のおそれがあります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電の原因になります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

⚠注意

逆流防止機構（逆止弁）のない水栓には取付けないでください。
逆流した場合、屋内の配管が破損、漏水するおそれがあります。
参照：P7～8

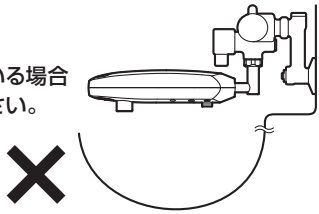
同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
60℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

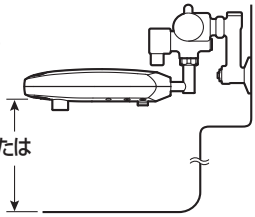
センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
直射日光などによる誤作動の原因になります。

直射日光の当たる場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。

シンク面が水平に対して10度以上傾いている場合やボール状の場合には、取付けないでください。
誤作動の原因になります。



ステンレスシンクの場合や、センサー感知窓の真下に排水口などの高反射物がある場合は、シンク面から300mm以上離して取付けてください。
誤動作の原因になります。



左右に吐水口を動かして、センサー内ランプが点滅していないことを確認してください。
さらに、左右に動かして吐水口の回転範囲がシンク内にあることを確認してください。

⚠注意

インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。

ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめずに、水栓のハンドルを閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P21

常時湯気が発生している場所の上には設置しないでください。
故障の原因になります。

施工について　適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水

用途	一般住宅用

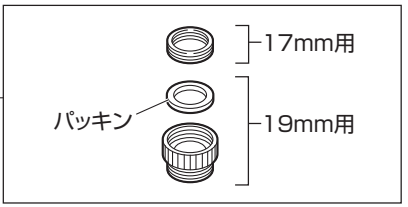
施工について　施工上のご注意

●給水は、上水道に接続してください。
●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

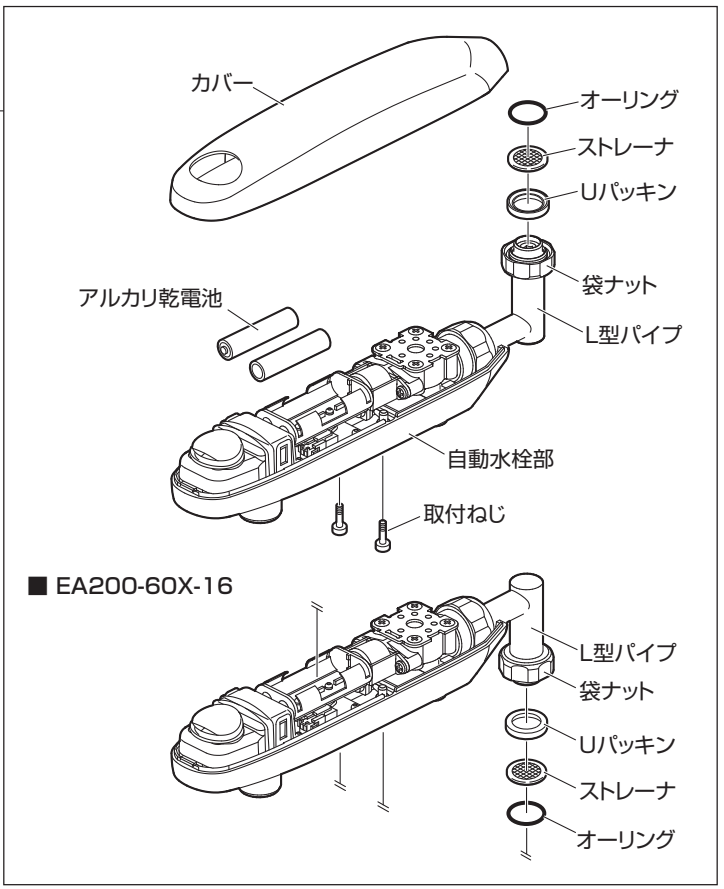
施工について　梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

パイプアダプター ×1



本体 ×1



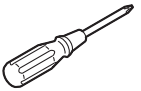
●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

■ スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットが回せる工具。

SANEI品番：
PR3350
(水栓スパナ)

■ プラスドライバー：
カバーをはずす時に
必要です。



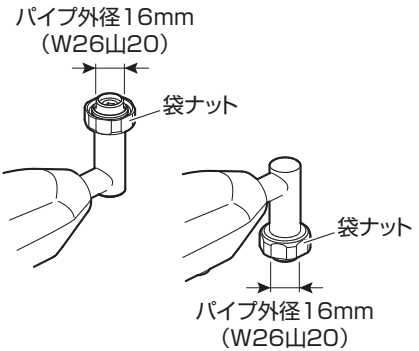
■ 手袋：
ケガ防止のために着用
してください。

■ タオルなど：
ケガ防止や水栓保護の
ために使用します。

1　取替前の確認

（1）既設の水栓を確認してください。

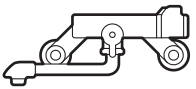
既設のパイプ外径が17mm・19mmの場合は、付属のパイプアダプターを使用します。



適合条件

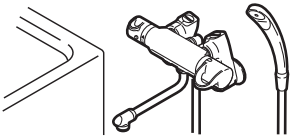
（注）●取付径とタイプをご確認のうえ、お買い求めください。
●袋ナットが合わない場合は現在使われている袋ナットをご使用ください。

○ パイプ外径が
16mm・17mm・19mmの水栓



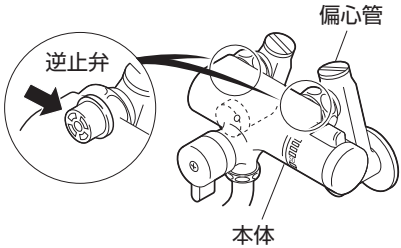
× 吐水口が異形の水栓

× 浴室内・屋外に設置している水栓



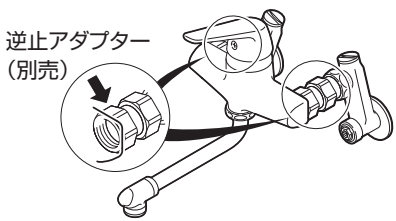
✕ 逆流防止機構のない水栓

※水栓に逆止弁があるか確認
してください。



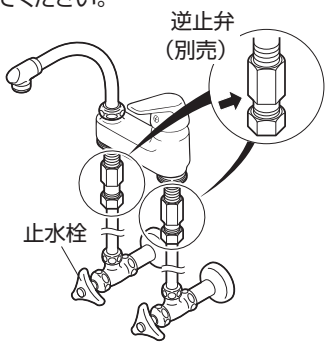
シングルレバー混合栓　壁付タイプ

●逆止付の偏心管、又は逆止アダプターV822S(別売)を取付けてください。



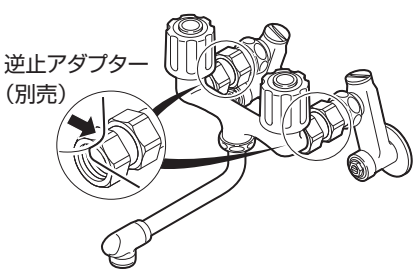
シングルレバー混合栓　台付タイプ

●逆止弁V872F(別売)を取付けてください。



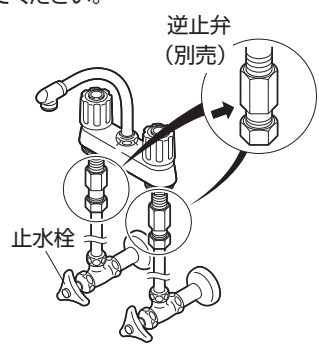
ツーバルブ混合栓　壁付タイプ

●逆止付の偏心管、又は逆止アダプターV822S(別売)を取付けてください。

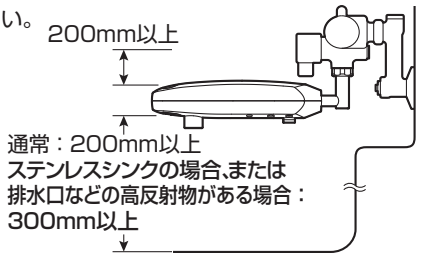


ツーバルブ混合栓　台付タイプ

●逆止弁V872F(別売)を取付けてください。



(2)取付場所のスペースを確認してください。



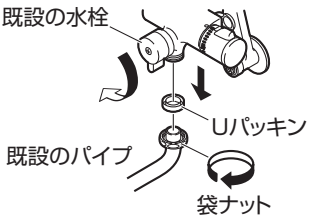
⚠ 注意

シンク面が水平に対して10度以上傾いている場合やボール状の場合には、取付けないでください。
誤作動の原因になります。

2　吐水口の取替え

(1)既設の水栓のハンドルを閉めて、止水します。
次に袋ナットをはずし、パイプを抜き取ります。
(水栓本体にUパッキンが残っている場合は取除いてください。)

(2)自動水栓パイプを取付けます。



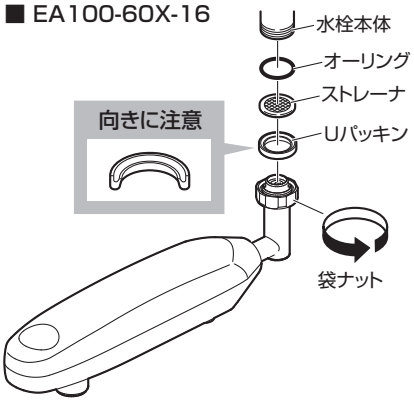
⚠ 注意

- **本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けないでください。**
- **ストレーナパッキンは、無くさないように注意してください。**

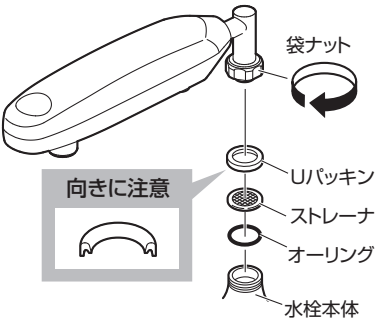
既設のパイプ外径が16mmの場合

ストレーナパッキンとUパッキンを水栓本体にはめ込んでから、袋ナットで固定します。

■ EA100-60X-16



■ EA200-60X-16

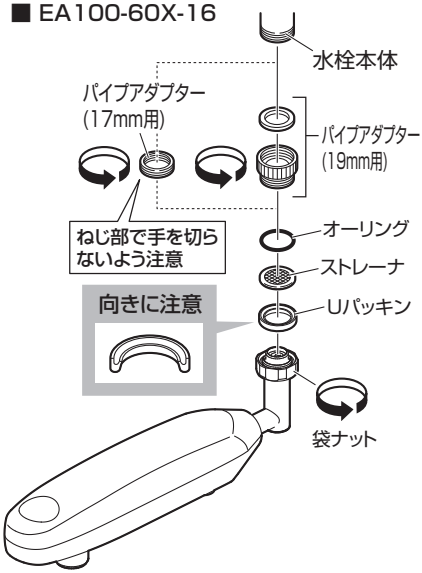


- パイプ取付部に水栓本体がスムーズに入らない場合は、Uパッキンを水で濡らしてからはめ込むと入りやすくなります。

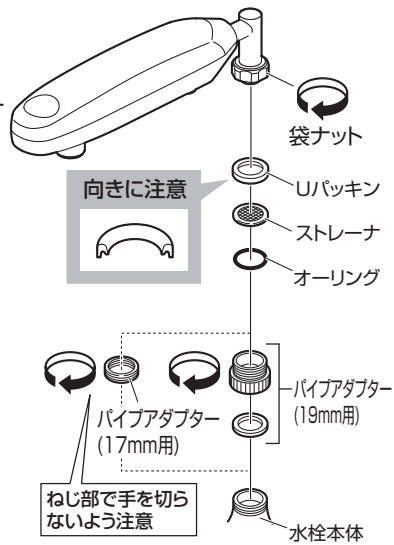
既設のパイプ外径が17mm・19mmの場合

水栓本体にパイプアダプターを取付けてから、ストレーナパッキンとUパッキンをパイプアダプターにはめ込み、袋ナットで固定します。

■ EA100-60X-16



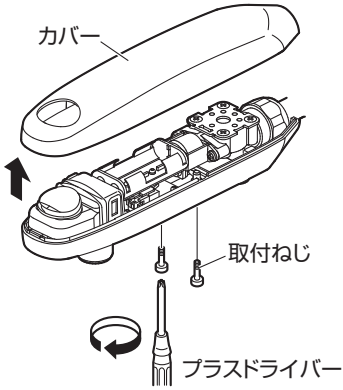
■ EA200-60X-16



●パイプ取付部に水栓本体がスムーズに入らない場合は、Uパッキンを水で濡らしてからはめ込むと入りやすくなります。

3　乾電池の取付け

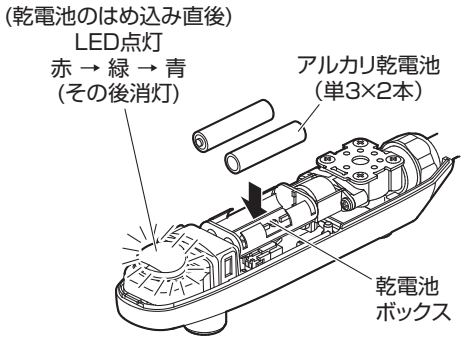
（1）プラスドライバーを用いて、カバーをはずしてください。



⚠ 注意

- **センサー感知窓や電源部とコード接続部が水に濡れたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。**
- **あらかじめ洗面器、シンクの内部をきれいに拭いてください。**
- **取付ねじが排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。**

(2)乾電池ボックスに、アルカリ乾電池をはめ込んでください。
乾電池のはめ込み直後、作動準備のためLEDが 赤 → 緑 → 青 の順に点灯し、その後消灯します。



お願い

- 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の方向に注意してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池は、早めに取出してください。
- 充電式の乾電池は使用しないでください。
- 乾電池に記載の注意事項をお守りください。

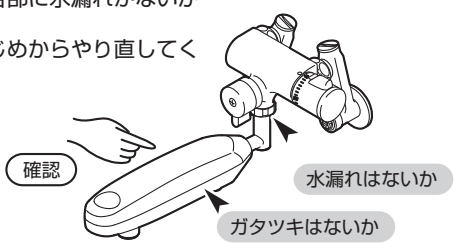
⚠ 注意

- 洗面器に障害物を置いたままで、乾電池を入れないでください。
- 乾電池ボックスの電池接続端子をショート(短絡)させないでください。
- 電池挿入後、LED点灯中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 上下のセンサー感知窓を指などでふさいだ状態で乾電池を入れないでください。誤作動の原因になります。
- 乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては、短くなったり長くなったりします。
- 同梱の電池は動作確認用のため、動作期間を保証するものではありません。
- 電池をはめなおす場合は、十分な時間(30秒程度)を置いたあとにはめなおしてください。

(3)カバーを取付け、LEDが消灯していることを確認してください。

4 取付け後の点検

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



ご使用について　ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

……「注意しなさい!」（上記の「注意」「警告」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

……「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません!」

……「指示した場所に触れてはいけません!」

……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」

……「水や液体をかけたり、浸けてはいけません!」

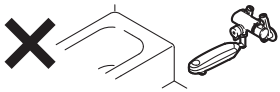
……「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

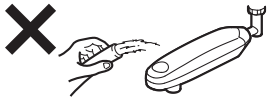
小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電の原因になります。



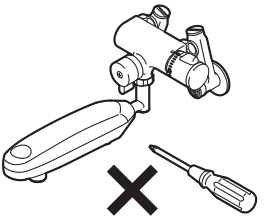
製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
故障のおそれがあります。



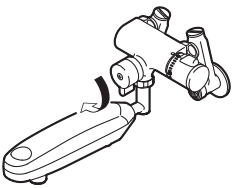
⚠注意

使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、
におうことがあります。

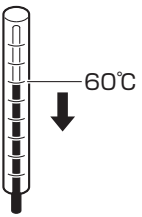
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、
水漏れで家財などを濡らす財産損害発生
のおそれがあります。



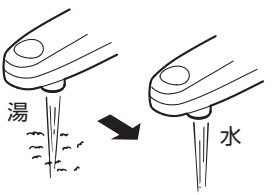
ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナをゆるめずに、水栓のハンドルを閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを
濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P21



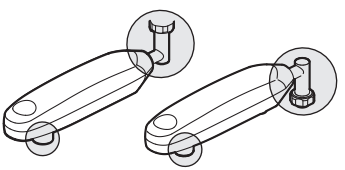
水栓の吐水温度は最高60℃までお使いください。
60℃以上でご使用になると器具の寿命
が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のた
め45℃以下での使用をおすすめします。



湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高
温の湯が出て、やけどをするおそれがあ
ります。



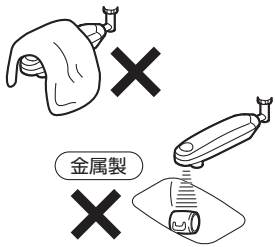
高温の湯をお使いのときは、吐水口やL型パイプに直接肌を触れないでください。
吐水口やL型パイプは高温になってい
るのでやけどをするおそれがあります。



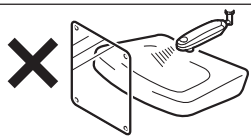
⚠注意

使用する時は、吐水口をふさがないでください。

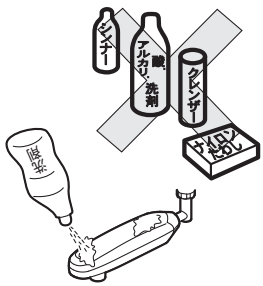
●センサー感知窓の上を覆わないでください。
誤作動の原因となります。
●洗面器、シンクの中に障害物を置かないでください。
誤作動の原因となります。特に、金属製のもの(コップ、スプーン、皿、ボウルなど)を置いた場合は、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
直射日光などによる誤作動の原因になります。

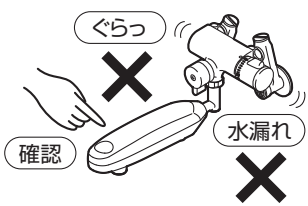


本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
本体の割れや変色変質の原因となります。
使用してはいけないもの
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわし・メラミンフォームなど



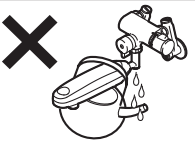
洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

定期的に、水栓周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

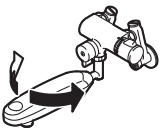


⚠注意

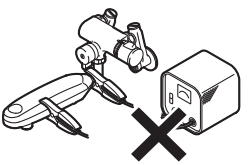
吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。



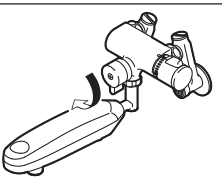
日頃から、ときどき吐水口を回してください。
吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れの原因になります。



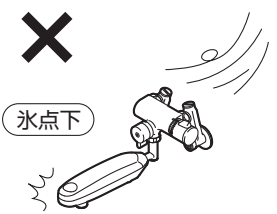
解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



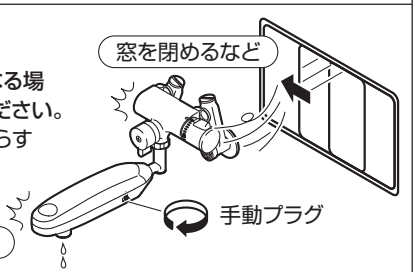
長時間使用しない時は、必ず元の水栓を閉めてください。
誤動作や故障などによる事故の原因になります。



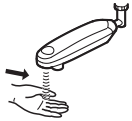
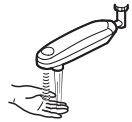
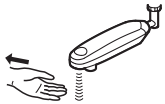
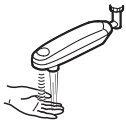
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となります。
配管部などに保温材を巻いてください。
凍結による破損は保証期間内であっても有料修理となります。

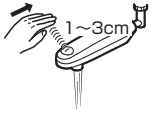
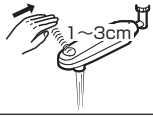


凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P20



ご使用について　吐水・止水

下面（通常自動吐水用）	1 感　知		自動水栓部内のセンサーが吐水口下の手を約0.5秒で感知します。 手を感知するとLEDが青色に点灯し、すぐに消灯します。
	2 吐　水		手を感知すると回路から感知信号が駆動部へ送られ電磁弁が開き、自動吐水します。
	3 止　水		感知しなくなって約1秒で自動止水します。
	自動 止水機能	吐　水 	止　水 ●手や物体を1分間連続感知すると自動的に止水します。

上面（連続自動吐水用）	連続 自動吐水	連　続　吐　水	
			自動水栓部内のセンサー（上面）が吐水口上の手を感知し、連続自動吐水します。 手を感知するとLEDが緑色に点灯し、すぐに消灯します。
		止　水	
			再度、手を感知すると自動止水します。
	自動 止水機能	吐　水 	止　水 ●連続自動吐水してから約1分で、自動的に止水します。

⚠ 注意

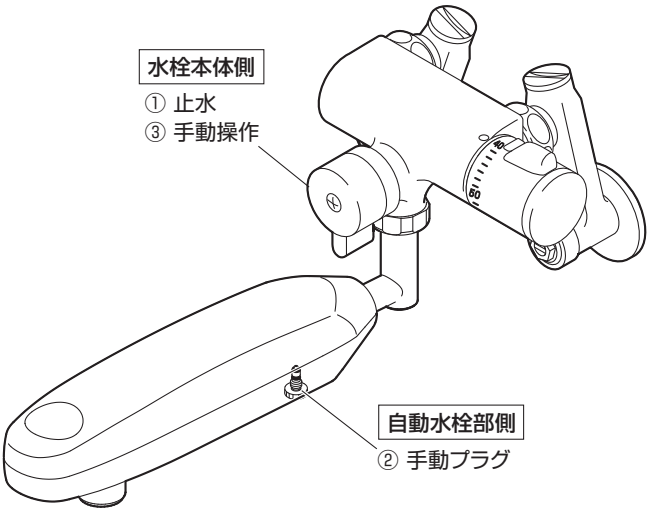
- ●センサー感知窓（上面）に手を当てるとセンサー検知しません。センサー感知窓から1～3cmの距離に手をかざしてください。
- ●1分間連続吐水後の止水状態の時、手や物がセンサー検知範囲内にあっても、止水時と同じ位置のままでは吐水しません。この状態の時、LEDが緑色または青色に点滅します。（緑色の場合は上側のセンサー、青色の場合は下側のセンサーが検知している状態です。）
  再度吐水させる場合は、手や物をセンサー検知範囲外に動かしてから、改めてセンサー検知範囲内に動かしてください。

ご使用について　手動操作について

乾電池が消耗し、使用可能日数が過ぎると吐水しなくなります。
この場合は、水栓本体のハンドルを閉めて止水してから手動プラグを開き、水栓本体側で手動操作してください。

⚠ 注意

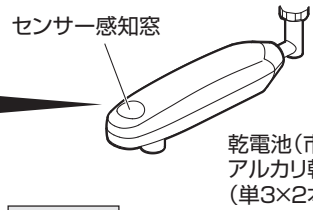
- **手動プラグを開く前に、必ず水栓本体のハンドルを閉めて止水してください。**
- **手動プラグを開いた後、再度閉める際は、手動プラグを一旦取りはずしてから取付け直してください。**
  そのまま手動プラグを閉めると、オーリングが破損するおそれがあります。



●乾電池の取替え後（参照：P18～19）は、手動プラグを閉めてから通水してください。

ご使用について　電池の取替え

乾電池が消耗すると、センサー感知窓のLEDがオレンジ色に点滅します。



LEDランプ点滅

■ 第一段階

乾電池が消耗するとLEDがオレンジ色に点滅します。
点滅開始後は、早めに新しい乾電池と取替えてください。

■ 第二段階

LEDがオレンジ色から赤色になると作動しなくなります。
新しい乾電池と取替えてください。

⚠ 注意

- **センサー感知窓や電源部とコード接続部が水に濡れたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。**
- **あらかじめ洗面器、シンクの内部をきれいに拭いてください。**
- **本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けないでください。**

1　水栓本体のハンドルを閉めて、止水します。

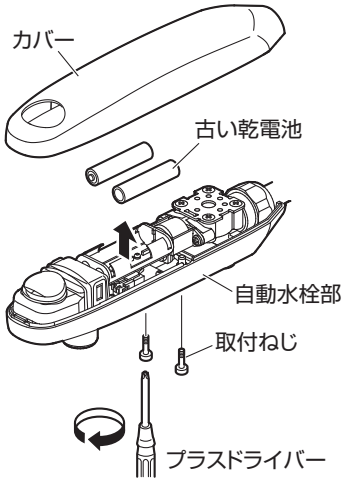
2　カバーをはずし、古い乾電池を取りはずします。

⚠ 注意

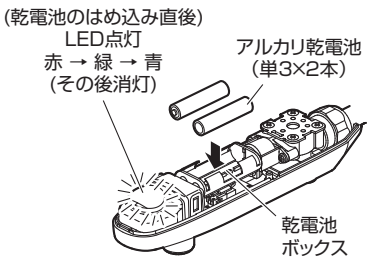
古い乾電池を廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属性のものと混ぜると漏液・発熱・破裂・発火のおそれがあります。

⚠ 注意

取付ねじが排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。



3　古い乾電池を取りはずし、十分な時間(30秒程度)をおいてから新しいアルカリ乾電池を乾電池ボックスに、はめ込んでください。乾電池のはめ込み直後、作動準備のためLEDが 赤 → 緑 → 青 の順に点灯し、その後消灯します。



お願い

- 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の方向に注意してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った乾電池は、早めに取出してください。
- 充電式の乾電池は使用しないでください。
- 乾電池に記載の注意事項をお守りください。

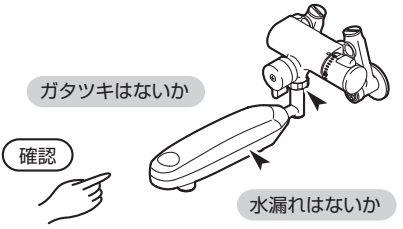
⚠ 注意

- 洗面器に障害物を置いたままで、乾電池を入れないでください。
- 乾電池ボックスの電池接続端子をショート(短絡)させないでください。
- 電池挿入後、LED点灯中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 上下のセンサー感知窓を指などでふさいだ状態で乾電池を入れないでください。誤作動の原因になります。
- 乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては、短くなったり長くなったりします。
- 同梱の電池は動作確認用のため、動作期間を保証するものではありません。
- 電池をはめなおす場合は、十分な時間(30秒程度)を置いたあとにはめなおしてください。

4　カバーを取付け、LEDが消灯していることを確認してください。

5　水栓本体のハンドルを開いて点検を行います。

各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



ご使用について　凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

●本製品の手動プラグを開き水栓より少量の水を出してください。
(目安として一分間に牛乳ビン一本程度)
●配管部などに保温材を巻いてください。
●屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

⚠ 注意

●手動プラグを開く前に、必ず水栓本体のハンドルを閉めて止水してください。
●手動プラグを開いた後、再度閉める際は、手動プラグを一旦取りはずしてから取付け直してください。
そのまま手動プラグを閉めると、オーリングが破損するおそれがあります。

日頃のお手入れ　汚れの拭き取り

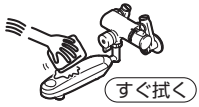
製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

次のものは使用しないでください。
変色や傷みのおそれがあります。
●酸性･アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわし・メラミンフォームなど

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

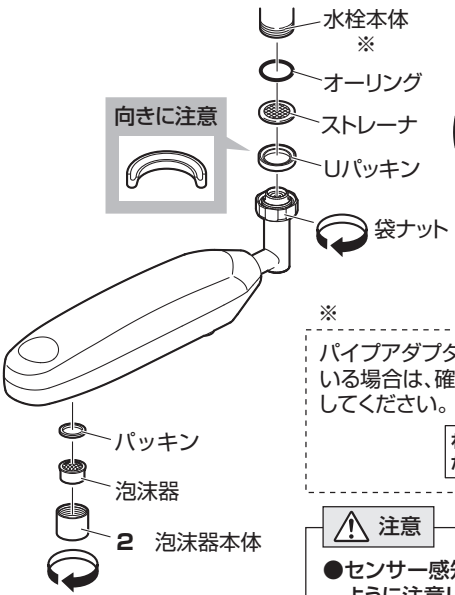


日頃のお手入れ　ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
（近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。）

1　水栓本体のハンドルを閉めて、止水します。
2　ストレーナパッキン・泡沫器本体をはずします。
3　ハブラシなどで取りはずした部品の網部分を掃除します。

■ EA100-60X-16



■ EA200-60X-16

※

パイプアダプターが取付いている場合は、確実に取付け直してください。

3　掃除

⚠ 注意

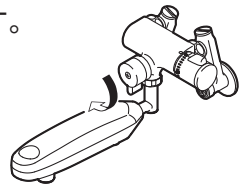
- ●センサー感知窓が水に濡れたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- ●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。
- ●部品を無くさないように注意してください。
- ●部品が排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。
- ●パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。
- ●ストレーナパッキン・Uパッキンの向きに注意してください。

再使用時

袋ナット（・パイプアダプター）・泡沫器本体が確実に閉まっているか確認してください。

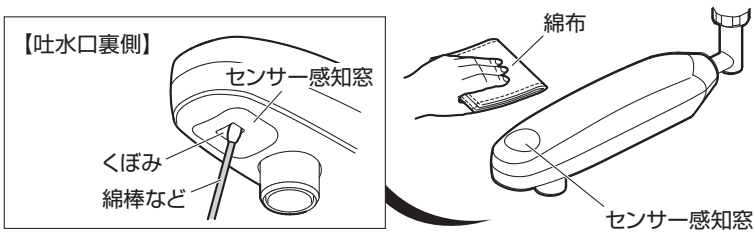
日頃のお手入れ　センサー感知窓の掃除

1　水栓のハンドルを閉めて、止水します。



2　水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

●汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。
●吐水口裏側のくぼみには、綿棒などを用いてください。

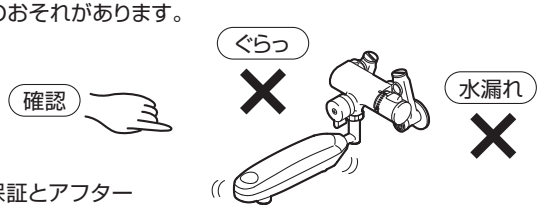


⚠ 注意

拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。

定期的な点検　配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P25）を参照してください。

こんなときは　故障？　その前に

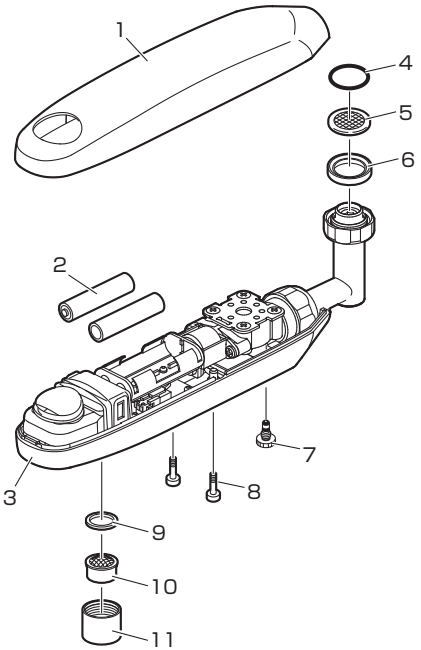
修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

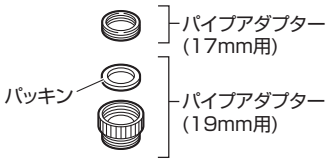
現象	点検項目	処置
作動しない。	乾電池が入っていますか。	乾電池を入れる。　参照：P18～19
	乾電池の+−が違って入っていませんか。	乾電池を正確に入れる。　参照：P18～19
	電池切れではないですか。	新しい乾電池を入れる。　参照：P18～19
	電池を抜いて、すぐにはめなおしていませんか。	電池を抜いてから、十分な時間(30秒程度)を置いたあとに、電池をはめる。　参照：P18～19
センサーが反応しない。 （感知距離内に手などの障害物を入れてもLEDが点灯しない。）	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取除き、乾電池を入れ直す。(設定リセットのため)　参照：P18～19
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P22
	LEDが青色または緑色に点滅していませんか。　参照：P16	障害物を取り除く。 センサー感知窓を掃除する。　参照：P22
センサーは反応するが、湯水が出ない。 （感知距離内に手などの障害物を入れるとLEDが点灯する。）	水栓のハンドル、流量調節栓は開いていますか。	水栓を操作する。流量調節栓を開く。
	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取除き、乾電池を入れ直す。(設定リセットのため)　参照：P18～19
	水圧が使用範囲より高くありませんか。	配管などに減圧弁を設置して水圧を下げる。　参照：P5
湯水の出が悪い。	ストレーナにゴミが詰まっていませんか。	水栓のストレーナの掃除をする。　参照：P21
		自動水栓パイプのストレーナ、整流器の掃除をする。　参照：P21
湯水が止まらない。	感知距離範囲内に障害物はありませんか。	障害物を取除き、乾電池を入れ直す。(設定リセットのため)　参照：P18～19
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P22
	手動プラグが開いたままになっていませんか。	手動プラグを閉める。　参照：P17
センサーが勝手に反応する。	センサーの近くに反射物はありませんか。	センサーの近くの反射物などを取り除く。　参照：P4
	直射日光が入っていませんか。	直射日光が入らないようにする。
	ステンレスシンクを使用していませんか。また、センサー感知窓の真下に排水口などの高反射物がありませんか。	シンク底面から最低30cm以上離す。　参照：P4
	センサー感知窓に水滴等が付着していませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P22
湯水が勝手に出る。	インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。	誤作動の原因となる機器を取り除く。　参照：P5
通常より手を近づけないと反応しなくなる	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。　参照：P22
処置しても直らない場合、水栓の方に問題がある可能性があります。 水栓に添付している説明書をお読みください。		

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

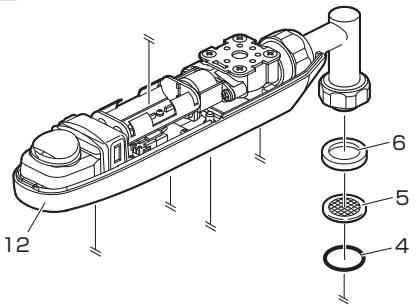
こんなときは　本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
構造をご理解いただくのにご使用ください。





■ EA200-60X-16



EA100-60X-16

1. カバー
2. アルカリ乾電池
3. 自動水栓部
4. オーリング
5. ストレーナ
6. Uパッキン
7. 手動プラグ
8. 取付ねじ
9. パッキン
10. 泡沫器
11. 泡沫器本体

EA200-60X-16

12. 自動水栓部

仕　様

型　式	EA100-60X-16,EA200-60X-16(センサー・電磁バルブ)			
電　源	DC3V　アルカリ乾電池 単3(LR6)×2本			
最大感知距離	下面	約100mm	上面	約10～30mm
検知時間(間隔)	下面	0.5秒	上面	0.5秒
自動止水機能	下面	物体を1分間連続感知した時自動的に止水	上面	連続自動吐水してから1分後に自動的に止水
給水圧力(水栓)	0.05MPa～0.75MPa			
使用温度	水温：0～60℃水道水(凍結不可)			
給水部接続	袋ナット取付径16用-W26山20 (パイプアダプター取付径17用-W26山20/19用-W30山20)			
乾電池寿命	100回/日として約2年(アルカリ乾電池使用) 乾電池寿命は、使い方(使用頻度)や周囲の温度によっては短くなったり長くなったりします。			

保証とアフターサービス

〔保証について〕

●この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
●保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
●保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
●連絡していただきたい内容：■住所、氏名、電話番号
■品番、品名
■お買上げ(お取付け)年月日
■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
■訪問希望日
●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。
(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品の交換〕

●止水部やパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。
この場合、該当部品の交換が必要です。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ http://www.san-ei-web.co.jp

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （１）使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
   （２）温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
   （３）お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
   （４）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
   （５）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
   （６）消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
   （７）施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
   （８）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
   （９）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
   （10）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
   （11）砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
   （12）寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   （13）本書の提示がない場合
   （14）本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。

★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

SANEI

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品　番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間　（お買上げ日/お取付け日から）
	本　体	2ヵ年
お買上げ日 （お取付け日）	年　　月　　日	
お客様	見　本	

販売店 工事店	店名　住所 電話　　（　　）

SANEI 株式会社

〒537-0023　大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ http://www.san-ei-web.co.jp